

さつま町、鹿児島銀行及び九州電力鹿児島支店の 「さつま町のカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」の締結について

さつま町（町長 上野 俊市）、鹿児島銀行（頭取 松山 澄寛）及び九州電力鹿児島支店（支店長 樋口 和光）は、「さつま町のカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を締結しましたので、お知らせします。

国連によるSDGs採択やESG投資の動きに加え、日本政府（2020年10月）や鹿児島県（2020年11月）による「2050年カーボンニュートラル宣言」など、脱炭素社会の実現に向けた社会的要請が一層高まりつつあります。

こうした状況を踏まえ、本協定により、さつま町、鹿児島銀行及び九州電力鹿児島支店は、三者の強みを活かして、さつま町のカーボンニュートラル推進と地方創生に向けて協働して取り組んでまいります。




〔締結日〕

2022年6月23日（木）

〔連携事項〕

- （1）エネルギーの効率的利用の推進に関すること
- （2）町民の環境意識の向上に関すること
- （3）災害に強いまちづくりに関すること
- （4）その他、地域課題の解決に関すること

〔カーボンニュートラルの実現に向けた取組み〕

 <p>さつま町 SATSUMAMA KAGOSHIMA</p>	カーボンニュートラルへ向け、温室効果ガス排出の低減対策をはじめ、再エネルギーの地産地消を目指した取り組みを進めるため、(仮称)「持続ある未来づくり、カーボンニュートラルさつま町宣言」を行い、地球環境をさつま町から考え提案する取り組みを進めます。
 <p>はじめよう、あたらしいコト。 鹿児島銀行 Kagoshima Bank</p>	SDGs取組み方針「サステナビリティ全体構想」に掲げる「環境にやさしい地域づくり」に基づき、脱炭素社会の実現に向け、CO ₂ 排出削減目標やESG投融資目標を設定し、再生可能エネルギー関連融資や地域の環境保全活動等に積極的に取り組んでいます。
 <p>九電グループ ずっと先まで、明るくしたい。</p>	「九電グループカーボンニュートラルビジョン2050」の実現に向けて「九電グループカーボンニュートラルの実現に向けたアクションプラン」を策定し、エネルギー需給両面の取組みとして「電源の低・脱炭素化」と「電化の推進」の2つの柱を設定し、「カーボンマイナス」を2050年よりできるだけ早期に実現することを目指し取り組んでいます。